

## ユニバー報告書（名古屋大学大学院 1 年 谷川友太）

～ユニバーまでの準備～

### 1. 目標

どんな感じなのか、というのがなくて、とくに目標はなかった。トレキャン、ユニバー、O-Ringenと3週間、楽しくオリエンテーリングができればいいと思っていたくらい。それと、リレーで第1チームに勝つこと。

### 2. 日本でのトレーニング(4月～7月上旬)

特にユニバーに向けてというのはなかった。これまでどおり、走りたいときに走りたいだけ走り、走りたくないときは走らなかった。5月くらいからは走りたくないときが増えて、だんだん走らなくなっていった。6月は90kmくらいしか走っていない。走りたくない時でも走らなければいけない。週末は出国の前日まで、合宿や大会で何かしらオリエンテーリングをしていた。特に秋田合宿、八ヶ岳合宿が楽しかった。

### 3. トレキャン期間

ストックホルムに着いた日はホームシックになっていたが、ユニバーの宿に着いたら治った。宿の食事がよかった。トレキャン中にはトランプが流行り、選手だけでなくコーチもいっしょにやっていた。このトランプでお互いのことをより知ることができ、チームの団結力にも繋がった。トレキャンは、1週間オリエンテーリングばかりできて幸せでした。

～レースについて～

ロングは最初の方はあまりミスもなくいけた。途中、1つ上手くいったあと調子に乗ってミスをしてしまって、そこから最後3つくらい大きなミスが続けてしまった。調子に乗ってもミスをしないことが必要。スタート前にコーチが興味深い話をしてくれて、いい状態でレースに臨むことができた。

スプリントは、いいところがなかった。最後の山の部分がぜんぜんわからなかったし、足が遅い。足が遅いのどうしようもなかったが、最後の部分はもっとできたんじゃないかと思う。どこかのコーチが選手を送り出すときに「Enjoy!」と言っていて、西脇さんもそれを言ってくれた。スタート役員の人がみんななどことなく優しくなった気がする。

リレーはとてもいいチームで走ることができて良かった。第1チームに勝つことが目標だったが、2走までで大きく差を付けられて、消化試合な感を持ってしまっていた。始めのうちからよくミスをして、それと靴ずれが痛いのもあり、完全によくあるだめな感じだった。

～今後の目標～

特にありません。ユニバーが終わったときは、次こそはとも思ったが、今はそこまででもなく、オリエンテーリングを楽しめればいいと思っている。そのためにはレースでも勝ちにいけるのが必要だと思う。具体的には、来年度の大会で櫻本信さんに勝ち越すことを目標にしている。

～最後に～

ユニバーに出場するにあたり、たくさんの方にお世話になり、また、たくさんの方から応援・ご支援いただきましたことに感謝します。本当にありがとうございました。この場でお礼を申し上げます。